

2023/09/04 (月)

朝の礼拝

聖書 コヘレトの言葉 3章 1節 (旧約聖書1036頁)

何事にも時があり

天の下の出来事にはすべて定められた時がある

ふり返れば愛

旧約聖書の創世記後半に「ヨセフ物語」があります。ヨセフは十二人兄弟の十一番目でした。彼はひとの夢を解き明かす賜物がありました。しかしそれが仇となって兄たちから妬まれ、遠い異国の地エジプトへ売られ、数奇な人生を辿ることになりました。

いまお読みいただいたコヘレトの言葉に「すべて定められた時がある」とありました。これは時計が刻む量としての時ではなく、一時のことであると同時に生涯、永遠に忘れられない時、測ることのできない質としての時を意味しています。

しかしこの定められた時は「神のなさる業を始めから終わりまで見極めることは許されていない」(11節)とあるように、あらかじめ人にはわかりません。人にとっては偶然であり、後になってふり返りその意味に気づかされるということです。

さてエジプトへ売られたヨセフは異国で苦勞し、最後は宰相となります。そこへヨセフとはわからない兄たちが食糧を求めに来ました。自分を捨てた兄たちを迎え、ヨセフはエジプトへ売られた意味を悟りました。ヨセフもまた自らをふり返って、神の導きに気づくのでした。

(しばらく黙禱しましょう)

慈しみ深い主よ。あなたは人生に定められた時を恵みとして与えてくださいます。しかし私たちは自分の人生をすべて自分で計画し、生きていけるものだとおごり高ぶってしまいます。どうか自らの歩みをふり返り、あなたが導いてくださった恵み、あなたの愛に気づくことができるようにお導きください。英和祭が近づいてきました。準備する生徒、教職員、サポートしてくださる皆様、ご参加くださる皆様と共に、私たちの成長と交わりが祝福のうちに包まれますようにお祈りします。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン